

3月号

第434号

# いっしん

令和3年(2021年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市  
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 / FAX 020-4665-5653  
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

心配は  
神にまかせて  
一筋に  
祈り祈りて  
みかげかかれ  
甘木親教会  
初代教会長  
安武松太郎師御款

教祖様138年 教団独立121年 小倉教会布教136年 甘木親教会布教117年  
安武松太郎大人70年 加治木教会布教70年…記念大祭 5月30日(日)



2月17日

甘木親教会

## 報徳祭

に引き続き

## 初代親先生七十年祭

仕えられる

二月十七日(水)、甘木親教会では報徳祭に引き続き、初代教会長安武松太郎師七十年祭が仕えられました。

初代親先生がお亡くなりになられ、雪が降る中に葬儀が仕えられた写真が遺っていますが、その日と同じように雪が舞う中に七十年祭がお仕えになりました。

また、福岡県にはコロナウイルス感染症の第三波の影響で自粛宣言が発令されていきましたので、出社教会からの信徒の参拝はひかえるように連絡されてありましたので、出社教会からは教師だけの参拝でご祭典がお仕えになりました。

報徳祭は、安武道義親先生ご祭主のもと甘木教会在籍の先生方でお仕えになられ、安武松太郎師七十年祭は、日田教会長 堀尾光俊先生が、ご祭主および祭主挨拶のご教話を仕えられました。

(次ページにつづく)

甘木親教会

報徳祭 に引き続き

初代親先生七十年祭

祭主挨拶 (要点のみ)

【日田教会長 堀尾光俊先生】

「初代親先生がお亡くなりになられて七十年となりますが、今もみ教えが活き活きと道の働きとなって現れており、その後に続く私どもは何と有り難いことでしょうか」とお話になられ、その後、甘木教会初代安武松太郎先生と日田教会初代堀尾保治先生との間で交わされたご理解について次のようにお話になられました。

日田教会の初代が三十三才の時に、父堀尾喜平が亡くなり、四十三才の時に十年祭を甘木教会の初代の安武松太郎先生が祭主でお仕え下さり、その時のことです。

安武松太郎先生は、ちょうど六十才の還暦です。

十年祭が終わって親族一統でお直会の場になり、二・三十人いたということでした。



日田教会の初代は、下座の方から、親族一統にお相伴をしながら「今日はお忙しい中をどうも有難うございました」というようなことをやっていました。下座の方におられた、義理のお兄さんで、姉婿の稲永善次郎という方に「お義兄さん、今日は有り難うございました、お義兄さん

振り返ると私も、このお道にご縁を頂いてなかつたら今頃命はありません、親にも心配ばかりかけて親孝行らしいこともできずに、とうに命はなくなっておると思います。それをこのお道にご縁を頂いて親にも喜んでもらいました。今日もこうして十年祭も仕えることができて何も申すことはありません。この上「の身は、いっとうなつても何の不足もありません」と話し、聞いたお義兄さんも「あんただけではない私もそうじゃ、あんたがおかげ頂いてくれたおかげで私もこのお道にご縁を頂いて、今日まで広大なおかげを頂いて来た、わしもこの先の身に何が起ってきても何の不足もない、いっとうなつても何の不足もない」と、いっとうな死んでもいいというように思いで、二人で杯を酌み交わしていたそうです。ところが、それを正座で聞いておられた安武松太郎先生が、一喝されたのです。

「堀尾さん、稲永さん、今の話は違つぞ」と、二・三十人とおられた親族の方たちはびっくりされて、全員が安武松太郎先生の方に注目された



そうです。

すると安武松太郎先生が言葉を継がれてご理解があったのです。

「ただ今の二人の話は、それは心得違いじゃ、自分も以前にそんなことを思いもし、まだ口にしたこともあったが、うるわしい話のようであるが、よく考えてみると大きな勘違いであった。今話を例えて分かりやすくいうてみれば、自分が手元の都合が悪い時に、人からお金を借りやら物を借りやらして、何らお返しもせず、だんだん自分が豊かに気持ちよく暮らせるようになった時、もう自分はあの人にもらうだけはもらい借りるだけは借りた、こちらへんで打ち切って算用なしにしてもらえば、自分としては何の不足もない、と言っておると同じじゃ、借りた方は不足はなからうが、貸した方はどうなるか、それで良いであろうか、神様からのおかけの受けように不足はないから、いつ打ち切ってももうても不足はないということ、うるわしい話のようであるが、恵んで下された神様は、それでご満足であるうか、私はそれに気が付いてから、

心から神様にお詫びを申して、そして頂いたおかけの万分の一でも報いさせていたきたい、ご神慮に添うようお役に立つ御用を努めさせていたきたいと思ひ、それでそのためには、健康も願ひ長寿も願ひしている、それは我が身のためではない、御用のために長生きを祈っているのである、ときちんとして仰せられました。聞いていた私(四十三才)は冷水を浴びたように感じました。何か世の中をあきらめ悟ったようなことを言っていたのは感謝の心からであったにせよ、思えば真に不都合なことでありました。それから深く思いを立て直しました」

と、このように述懐をしておるのです。

この後がまだありまして、父喜平の三十年祭の時のことです。その時の祭主は二代の安武文雄先生が仕えられていますが、初代はまだご存命なのです、もう年齢が八十才なので、二代親先生が仕えられています。

そのお礼に甘木教会にお参りした時に「十年祭の時に親先生から、こういうみ教えを頂きました」とその

時の話を日田の初代(六十三才)がしました。すると、安武松太郎先生はその時のことを覚えておられて、ご理解があるのです。



第二祭場 弥生会館ホール

「あーそうじゃ、それでな、少しでも長生きさせていただいて、お役に立たせていただき神恩の万分の一をもお報いしたいと念願しているが、

神様から恵まれる方が大きくして、長生きすればするほど働きはできず、神様に借金ばかり増すように思われて、お礼申してもお礼申してもお礼が届かぬ、相すまぬことが次々に心に浮かんできて、お詫び申してもお詫び申してもお詫びがほんとうにできるように、どうかお礼がほんとうにできるようにして下さいと、この頃はいつも神様をお願い申している、としみじみと述懐されたのでありました。聞いた私は身が縮む思いが致しました。」

ということですよ。

「もうおかげいただいたから私はこれから先いつどうなってもかまいません、いつ死んでもかまいません」ということだけでも大したことです。どんなにおかげ頂いていても、いつ死んでも文句はありません不足はありませんという、その境地に至るのであっても、容易なことではないと思います。」

人間には欲がありますから、一つ頂いたら二つ、二つ頂いたら十、十頂いたら百と、必ずそうなって行く

と思います。

私は「いつどうなっても不足はありません」と言えるだけでも大したことだと思えます。しかし「それは違う」と言われるのです。

「そうやっておかげを受けたのなら、これからはその万分の一でもご神恩に報いさせていたきたい、お役に立たせていたきたい、それがほんとうなんだ」というところでしよう。



そして、しかもそれを、二十数年経って、八十才の時に「長生きすればするほど働きはできず、御用にお使いいただくと言いながら、お礼申してもお礼申してもお礼が届かぬ思いがする、お詫び申してもお詫び申してもお詫びが届かぬ、だから今は、どうぞお礼がほんとうにできますように、お詫びがほんとうにできるようにして下さいと、それを願っている」ということですよ。

こつこつと信心の世界があるのです。もう信心はわかった、何十年信心している、と言っても危ういものです。我流になって、どこかで胡坐(あぐら)を組んでいる、そういうような私だということをしみじみ思います。どつでも、お道の信心は一つでも多く分かせていただいで、知らせていただいで、一年一年有り難うなうって行くような、そしてしかも、ご神恩の万分の一の御用が、親神様・金光様に届くような、そういう生き方を稽古させていただきたいと思えます。

◎田々の後は、平成三〇年二月二日、御本部の  
戸例祭、堀尾光俊先生講話から同内容のため引用





てください」ということで検診を受け薬をもらって服用しました。

その公立病院の先生は、糖尿病の権威という先生ということでしたので「糖尿病は治りますか」と尋ねましたところ、「一生薬を飲み続けなければならない」といけません」ということでした。

さらに「痩せて下さい、栄養士から説明を受けて下さい」とのことです。栄養士の話を聞きますと「炭水化物をご遠慮ください」ということで、ご飯や、うどん、ラーメン、小麦粉関係の食品を制限するように言われました。当時体重が七十五キロほどでした。

また、その頃、人の勧めや検査の結果「無呼吸症候群」ということで、機会を着けて調べてみますと、睡眠中に一分二十秒ほど呼吸が止まっていることがあり、心臓疾患や脳疾患につながるかなりひどい状況ということでした。

そこで、とにかく痩せて健康にならないといけないと思い、毎朝ご祈念後に数キロを走ることにしました。走り出してから、検査を受けますと少しだけ数値が下がりますがへあ

れだけ運動してもこれくらいしか下がらないのか」とがっかりして運動を止めた時期がありました。

すると、その間にまた数値が上がってしまいました。

それからは、月一回病院に通い、糖尿病と無呼吸症候群の診察と薬代と、経済的な負担も少なくありませんでした。

そのため「これは大変だ」と思い、病院の先生は「一生治らない」とおっしゃるのですが「神様からおかげを頂かねば」と思い、それからというものの毎朝ご祈念後に、雨が降らない限りは、教会の前や近くを一時間ほど走っており、汗びっしょりになっております。



そのようにして検診に行きますと「だいぶ良いですね」と言われますので「薬はもう飲まなくて良いですか」と尋ねますと「薬を飲んでいながらこれくらいで治まっているのです」と言われます。

それからまた、さらに運動を徹底して腕立て伏せや腹筋運動をして、アスリートのような気分でした。

そうして一年が経った頃、病院の先生に「薬を飲まないで数値を計ってみて下さい」と頼んで、一三ヶ月して計りますと「ヘモグロビンA1C」の値が、六・五あったのが、五・九に下がっていました。

食後の血糖値も一〇〇少々で、それも良いということでした。

そのため「薬も必要ありません」ということでした。



そうして、病院の先生は「半年後にもう一度診察してそれで変わらな  
いならば完治したことにしましょ  
う」ということでした。

そのようにして半年後に診察を受  
けますと、数値が良いので完治した  
ことになりました。

名医と言われる先生が「治らない」と  
言われましたが、その先生の言葉  
で私はその気になって、とうとう治  
りましたので、その先生は確かに名  
医なのかも知れません。

おかげで、今は食事を頂く時も、  
口先だけでなく、心の底からという  
気持ちで食事訓を唱えて頂かせてい  
ただいております。

一時間走るのにはきついのですが、  
走ると体重は減りますので成果があ  
ることがわかり、目標が目に見えて  
くると達成感が出てきて、朝になら  
とへ走らないと！〜という気になっ  
てきます。

また、朝日が昇り十時頃まで、セ  
ロトニンという幸せホルモンが放出  
されているそうで、うつ病などにも  
良いそうですが、そういう天地のお  
恵みも浴びて、達成感もあり健康の

おかげを頂いております。

おかげで、睡眠時無呼吸症候群の  
数値も健康な水準となりおかげを頂  
きました。

こちらが本気になって取り組むこ  
とが大切です。信心と同じですね。

（後半、次号につづく）  
~~~~~

**布教七十年祭(五月三十日)**

**に向けての御用**

二月二十二日、月例祭後の共励会  
では、記念祭の記念品の手作りマス  
クのゴム通しをさせて頂いてくださ  
した。

今までに縫いあがった三十枚ほど  
のマスクのゴムを通しは、ゴム通し  
用具が準備されていたため案外ス  
ムーズに進みました。

手作りマスクなどを縫う御用をお  
かけ頂かれる方は、教会までお申し  
出下さい。布と縫い方の説明書をお  
渡しいたします。



体験発表

# 「道の中に育てられ」

庄村(現・前田)和子

(「いっしん」昭和四十八年一月号より)

(昭和四十八年  
一月号掲載)

私が教会にお参りさせていただくようになったのは祖母の信心があったからだと思います。

小さい頃、ばあちゃん子で、祖母の行くところにはどこでもついて行き、祖母もまたどこへでも連れて行ってくれました。

そんな中で、祖母が教会へお参りする時も後からついて行っておりました。

そうしてお参りするうちに小学校に行くようになると、教会の少年少女会の世話係の人が私を例会にさそって下さるようになり、ゲームやソングがおもしろくて、例会の時にはお参りさせていただくようになりました。

また、少年少女全国大会の御本部参拝にも、祖母がお参りしておいでと言って旅費を出してくれました。中学・高校になると、今度は祖母

の手を引いてお参りするようになりました。

そして、祖母が床に就いたりした時など「教会にお参りしてお願いしてきてくれんね」と言われて、親先生にお願いして帰ってくると、とても喜んでくれました。

その頃はまだ、信心の稽古というようなことはわからずにお参りしていました。



昭和50年頃、矢野政美大人と少年少女会員一同  
左端、前田(旧・庄村)和子氏

高二の時祖母が亡くなりましたが、教会にお参りしてお礼をし、信心は受け継いで続けさせていただけようとお願ひしました。

高三になって少年少女会のリーダーの御用を頂き、わからないながらも先輩の方の見よう見まねで、また親先生のお祈り・ご指導で、お世話をさせていただくようになり、少年少女会活動を続けさせていただくようになりました。

少年少女会活動についての実習会や研修会にも進んで参加させていただいて、真剣に取り組んで行こうとしました。

学校を卒業すると、青年会に入らせていただくようになり、信心の話や『金光大神』の研修などで信心ということを少しずつわからせていただき、段々育てられてきたと思います。

そうして、少年少女会の御用、青年会の例会と、教会に足しげくお参りするようになると、家の者から「そんなにお参りせんでも、家からお礼しちよればそれでよくないね」と、言われるようになりましたが、一人



お参りしていた中で、苦しく悲しい  
思いをしてお参りしていました。

それで親先生にお取次頂くと、教  
祖様の小さい頃の「私は神仏に参り  
とうございませうから、休日にはこ  
ろよう参らせていただきとうござい  
ます」と言われたお話しを頂き、ま  
た「牛にまぐさはやってきたね」と  
言われ「やってこなかった」と言わ  
れたら「それでは神様のご機感にか  
なわない」と言われたというお話を  
頂き、教会にお参りする前までに、  
しなければならぬことをちゃんと  
済ませて文句を言われぬようにし  
て出かせなければいけないと考えさ  
せていただきました。

家の手伝いの段取りをつけて、片  
付けてから、また言われてもそれを  
修行と思わせていただくようにと思  
って、まだ自分にいけないところが  
あるからなのだと思わせていただき  
このことを乗り切らせていただきま  
した。

今では信心のことで無理を言っ  
ても許してくれませんが、祖母の信心が  
生きて働いておるのだらうと思いま  
す。

このようにして、少年少女会、少  
年少女会のリーダー、青年会と、会  
や御用でお育ていただきましたが、  
これからも家庭や会社で、自分の生  
活の中で、信心のできるような信心  
にならせていただいて、お役に立つ  
働きのできる私にならせて下さいと  
願いながら信心の稽古に励んで行き  
たいと思います。

この文章について (矢野章)

政美親先生のお道の布教意欲、一人の信奉  
者を育てようとする教導姿勢、青少年育成  
に対する力強い熱意の、現れでもあることが  
感じられます。

### あしあと(教会行事報告)

- 1 (月) ●報徳月例祭 10時半
- 4 (木) 甘木親教会初代立日10時(祈念)
- 9 (火) 清掃御用 10時半
- 10 (水) ●月例祭(天神祭) 10時半
- 12 (金) 矢野政美大人立日10時(祈念)
- 14 (日) 多良木教会報徳祭11時
- 17 (水) ●甘木親教会 報徳祭11時
- 20 (土) 清掃御用 10時半
- 21 (日) ●加治木教会報徳祭11時
- 22 (月) ●月例祭・共励会 13時半
- 28 (日) 清掃御用 10時半

## ご霊神様のおまじ

### 三月

- 川畑ツネ 之霊 (1日) 昭和44年
  - 中野サ子 之霊 (1日) 平成13年
  - 永原スミ子 之霊 (1日) 平成20年
  - 有蘭トシ 之霊 (2日) 平成26年
  - 内村源二 之霊 (3日) 平成5年
  - 野口益三 之霊 (5日) 平成26年
  - 信國幾雄 之霊 (6日) 昭和42年
  - 大山定二 之霊 (7日) 昭和61年
  - 荒木美至 之霊 (7日) 平成18年
  - 本中野重則 之霊 (12日) 平成24年
  - 矢野クラ 之霊 (13日) 昭和31年
  - 松田モト 之霊 (15日) 昭和62年
  - 信國徹志 之霊 (18日) 昭和52年
  - 松田セイ 之霊 (20日) 昭和18年
  - 前田広実 之霊 (21日) 昭和36年
  - 瀬尾田鶴子 之霊 (22日) 平成30年
  - 吉屋茂樹 之霊 (25日) 平成4年
  - 津上陸奥 之霊 (29日) 昭和53年
  - 本中野金四郎 之霊 (30日) 昭和4年
  - 市来キヨ 之霊 (31日) 令和2年
  - 柳園ヨシ 之霊 平成25年
- 「先祖の」霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日私たちであります。  
立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前で霊祭をお仕えし、玉串の奉てんを準備しています。

三月二十日(祝)午前十時半より

# 春季霊祭 奉仕

〔祭典(春季霊祭・勸学祭)後、教話  
※霊祭申込用紙をお結界にお届け下さい。

三月二十日(祝)午前十時半より

春季霊祭に併せて

# 勸学祭 奉仕

健康な成長と学業成就の、御礼と

お願いを申し上げます。

※参拝の少年少女にはお直会があります。

四月三日(土)〜四日(日)

天地金乃神様

# 御本部御大祭 参拝

出発〜三日 午前七時

甘木親教会(信奉者集会)参拝

帰着〜四日 午後九時頃

※祭場内は、人数制限はありますが祭場の外側での参拝はできます。

奥津城参拝・朝参拝もできます。

## 教会行事

### 3月

- 1 (月) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (水) 甘木親教会参拝日
- 9 (火) 清掃御用 10時
- 10 (水) ●月例祭10時半
- 13 (土) 矢野クラ刀自立日御折念 十時
- 14 (日) 少年少女会 10時半
- 19 (金) 清掃御用 10時
- 20 (祝) ●春季霊祭・勸学祭 10時半
- 22 (月) ●月例祭・共励会 13時半
- 31 (水) 清掃御用 10時

布教七十年記念大祭(五月三十日)奉迎  
改まりの願い

自己中心の信心から  
親神様の御立場に立った信心に、

親神様を使う信心から  
親神様にお喜びいただき

ご安心いただく信心に、

おかげを信じる信心から  
親神様・ご神慮を信じる信心に、

改まらせていただく。

### 4月

- 1 (木) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (土) 甘木親教会参拝日
- 3 (土) 4 (日)
- 御本部天地金乃神御大祭 参拝
- 9 (金) 清掃御用 10時
- 10 (土) ●生神金光 大神様月例祭 10時半
- 11 (日) 人吉教会 御大祭 11時
- 12 (月) (連)青少年行事企画会議十時半、鹿兒島教会 加治木教会
- 15 (木) 連合会執行部会
- 18 (日) 多良木教会 御大祭 11時
- 21 (水) 清掃御用 10時
- 22 (木) ●月例祭・共励会 13時半
- 25 (日) 甘木親教会 御大祭
- 29 (祝木) 少年少女会(野外調理)
- 30 (金) 清掃御用 10時

三月十三日(土)・十四日(日)  
に計画されていきました、

## 典楽講習会

は  
コロナ禍対策のため延期になりました。